

露頭を探す旅に出ました！

日時：2019年12月6日（金）13:00～16:00

場所：豊中市西緑丘2丁目（あけぼのぽんぽこ保育園前）、
吹田市藤白台5丁目（千里北公園内）

参加者：摂南大学建築学科生 5名＋教員 1名（計6名）

今回の見どころ

露頭を探す旅に出ました。露頭とは、野外において地層や岩石が露出している場所の事です。工事現場などで偶然露出している場所もありますが、今回は自然にできた露頭を観察するために、吹田市と豊中市に行くことにしました。吹田市では、有馬-高槻断層の火山灰層と粘土層があるとの情報を得ました。また、豊中市にある大阪層群露頭は、大阪平野の地盤をなす地層がほぼ直立しているそうで、これは非常に珍しいとの情報でした。さて、どのような露頭が観察できるのか楽しみです。

プログラム実施風景



出典(1)

吹田市の有馬-高槻断層の写真です。ここでは、火山灰層と粘土層の露頭を観察する事ができます。



千里北公園に着きました。左の写真の場所を探しますが、目印になる木が見つかりませんでした。しかし、露頭のような段差を発見しました。



この段差を近くで見ると、層になっていることが分かります。これは、ピンク火山灰層と粘土の層…だと思います。



出典(2)

豊中市の大阪層群露頭の写真です。これは10年前の写真ですが、この場所と同じ場所を目指します。



大阪モノレールの少路駅から路頭に向かう途中の道で「高低差が激しい」事に気付きました。



ここは、大阪層群露頭があったと思われる場所です。現在は薬局の駐車場になっていて、露頭は消滅していました…。残念でした…。

1) 路頭集 大阪府吹田市藤白台 http://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~rika/tigaku/nature/g_pink/loc28/comment.htm
2) 大阪地質学会 <http://www.geosociety.jp/faq/content0428.html>

プログラムの実施結果

私は最初に「露頭を探す旅に出る」と言われた時、テレビ等で見るような大きい露頭を想像しており、豊中市にある大阪層群露頭が特に大きいと聞いていました。まず豊中市では、周辺地域を歩くと「高低差が激しい」事に気づきました。この土地が元々山なら、大きい露頭が観察できるのではないかと期待が高まりました。しかし、薬局に変わっていたため、露頭を観察することはできませんでした。私は、土地を有効活用する上で、露頭を無くすことも重要だと考えます。露頭は周辺状況の変化で、住民が使う施設に変わっていったのだと思います。そのかわり、露頭の存在を看板などを使って明示することで、土地の歴史を忘れない工夫もあると思います。今回は大きい露頭を観察することができませんでしたが、今回の旅で見てきた景色は、過去からずっと繋がっていることを、改めて感じる事ができました。